

ソーシャリー・エンゲイジド・アート ダイアログ・シリーズ

アーティストは自然・環境・気候危機といかに向き合っているか？

アート＆ソサイエティ研究センターは2014年以降、社会的課題に取り組むソーシャリー・エンゲイジド・アートについての調査、研究、出版、展覧会や研究会の開催、アーティスト支援やプロジェクトの実践を継続しています。今回のダイアログ・シリーズでは、自然、環境、気象変動に関心をもつアーティストが、地球環境における危急の課題にいかに向き合い、自らの創作活動との関わりをどのように捉えているか、生の声で聞き、聴講者と共にディスカッションします。

VOL.4

「エコロジカル思考 ー水が結ぶシェアリングー」

登壇者：ジェームス・ジャック

開催日時：2022年9月30日 [金] 19:00～20:30

定員：30名

参加費：無料

会場：ZOOMによるオンライン開催

申し込み・問い合わせ：info@art-society.com

主催：特定非営利活動法人アート＆ソサイエティ研究センター

協力：株式会社ブックエンド（環境総合誌 BIOCITY）

Socially Engaged Art Dialogue Series



ジェームス・ジャック | James Jack

ポジティブな関係性を構築するため、生きているコミュニティと環境に関与するアーティストとして活動。ストーリー、海、大地を現代アート実践の中心に据えて研究ベースを築き制作しています。多岐にわたるオープンな芸術的アプローチのキーワードはエコロジカル、協働的、オルタナティブ、列島など。アートを中心として関係性を再生するために、創造し、考察し、繋がりながら想像的な方法でボーダーを越える活動をしています。

2009年 スタンフォード大学日本研究センター 修了

2015年 東京藝術大学美術研究科 博士 修了

2015年 南洋理工大学現代アートセンター アーティストインレジデンス

2013/2016/2022年 「瀬戸内国際芸術祭」展覧会

2022年 「lumbung: documenta fifteen」展覧会